

# 山梨県中小企業経営革新サポート事業による支援事例

## 概要

### ワイナリーのブランド構築と販路開拓に係る支援

事業者名／設立	ニュー山梨ワイン醸造(株)／S38年1月	支援期間	H29年8月～H30年8月
主な事業	ワインの生産・販売	担当機関	やまなし産業支援機構
資本金／従業員数	44百万円／4人（支援開始時点）	担当マネージャー	末木

## 相談内容・支援内容

### 【相談内容】

- もともと農業協同組合が組合員の栽培したブドウを原料としたワインの生産・販売を行うために設立された醸造所であり、現状の販売先は組合員・近隣の旅館・直売店など
- 県内・県外を問わず飲食店や小売店など新たな販路を獲得することにより生産量の増加と収益性の向上を目指し、以下の取組を実施したい
  - ①ラベル変更などによるブランドイメージの確立
  - ②インターネットを活用した情報発信の強化と販売
  - ③飲食店や小売店などの新たな販路の獲得
  - ④原料生産者と連携した新商品の開発

### 【支援内容】

- 商品開発やブランド構築に優れた実績を有するプロデューサーを起用したデザインの一新
- 価格設定や販売数量などに係る計画作成支援
- 新たなホームページの構成、コンテンツ、掲載写真などに係る助言
- 販売先の紹介及び営業への同行
- 新商品のコンセプトや販売方法に関する助言

## 支援成果

### 1 ラベル等の変更 (⇒①)

- 従来は土産物需要と地元消費者をターゲットとしたローカル色の強いものであったが、英語表記とロゴをバランスよく配置し、洗練されたものに刷新
- また、従来は全てボルドータイプ+スクリュューキャップであったが、一部商品にブルゴーニュ瓶を採用するとともに、キャップは全てコルクに切り替え

### 2 醸造所呼称とロゴ作成 (⇒②)

- 従来は醸造所としての呼称はなかったが、訴求力向上のため呼称を命名しロゴを作成
- 母体である笛吹農協は旧8町村を管轄していることから「8」とブドウ畑を意味する「ビィンヤード」、地名の「ミサカ」を掛け合わせ、8vin-yard MISAKA

### 3 ホームページの刷新 (⇒③)

- ワイナリーの歴史・ブドウ生産者の声・専門家の評価など幅広い情報を掲載し、ブログによるイベント告知などタイムリーな情報発信を行うことが可能なHPを構築

### 4 新商品開発 (⇒④)

- ブドウの量・質とも調達に融通がきく強味を生かしてスパークリングワインを商品化
- 生産者と相談しブドウ畑と収穫時期を選定することで最高のブドウが使用可能となり、質の高いワインが完成。初回生産4千本を完売

### 5 決算状況

- 通期の経常利益は7百万円増加し黒字転換するとともに、上記取組による商品販売を開始した11月以降の四半期決算では売上高が7百万円増加

通期比較	売上高	経常利益	四半期比較	売上高
H28年2月～H29年1月	43百万円	▲3百万円	H28年11月～H29年1月	17百万円
H29年2月～H30年1月	47百万円	4百万円	H29年11月～H30年1月	24百万円
前期比	5百万円	7百万円	前期比	7百万円



①ラベル等の変更



②ロゴ作成



更新前



更新後

③HP更新



④新商品